

2 生産環境施策の展開

1 農業生産・流通施設の整備

1) 農業生産・流通施設に求められる機能

農業生産は自然条件の影響が極めて大きいものの、田園型政令市の実現に向けて、都市と農村の互恵を目指した新たな生産形態の確立と、そのための農業生産・流通施設の整備促進が求められています。

また、経営の改善に意欲的な農業者への支援の充実と、それによる収益性の高い儲かる農業の実現とともに、市場競争力強化への条件整備が急がれています。一方、食の安全性に関わる消費者ニーズの高度化、高齢化に伴う社会生活の変化、IT技術の広範な普及に伴う流通の促進、国際化への対応等が重要な課題となっています。

これらのことから、農業生産・流通施設に特に期待される機能としては、以下の点があげられます。

■ 農業生産・流通施設に求められる機能

生産関係	生産性・品質向上 調査・試験・研究 農業機械の共同利用
流通関係	品質管理 農産物の展示 情報発信・PR 農産物輸出促進
加工関係	ブランド化・付加価値化 雇用機会拡大
資源循環関係	エネルギー生産 飼料生産 堆肥生産
都市・農村交流関係	農業・農村体験, 食育 農産物販売 飲食
農業支援関係	農業技術支援・開発 農村環境改善

2) 農業生産・流通施設のあり方

農業生産・流通施設に期待される機能を踏まえ、施設のあり方を以下に示します。また、配置にあたっては、合併効果を活かし、既存・計画農業施設に対して広域的に利用効率を高めていくことを基本に、①現況施設の更新・廃止、②現況及び計画施設の統廃合、③計画生産高に応じた効率的配置、④基幹施設の位置

分野	農業生産・流通施設のあり方	
	施設	導入機能
生産関係	乾燥貯蔵施設	米、大豆等の乾燥、貯蔵
	栽培管理施設	共同育苗、農業機械の共同利用
流通関係	集出荷・選果場、品質管理施設	労務軽減、品質管理、品質管理機材の充実、流通の安定、農産物の展示
	予冷库、保管・保冷库	品質向上、流通の安定
加工関係	農産加工センター	地産地消促進、付加価値加工、ブランド化
資源循環関係	堆肥（土づくり）センター	耕畜連携による堆肥生産
都市・農村交流関係	フラワーセンター	花きの販売、生活の憩いの場の提供
	（仮称）食と花のにいがた交流センター	農産物販売、飲食提供、緑花啓発 [※]
	（仮称）アグリパーク	農業体験、農業技術支援
	都市・農村交流施設	農業体験、都市・農村交流
	親水性の高い水辺、散策路	親水性、多自然化、歩行系ネットワーク強化
農業支援関係	（仮称）国際農業研究センター	国際農業交流、農業技術支援
	農業支援センター・研修センター	農業技術の向上
	農村環境改善センター	農業生産、生活環境の改善

※緑花啓発

緑花啓発とは、家庭園芸を中心とした花や緑の普及により、美しくうるおいのある生活環境を形成するため、市民の花や緑に対する関心と知識を高めること。

付けとその充実, ⑤JAとの連携・協働, ⑥都市と農村の共生への配慮, ⑦田園景観との調和 以上の視点から総合的に検討して適正配置を進めます。

	整備の方向性	基幹的施設数		
		既存施設	合併建設計画	JA計画施設
	米を主体として, 大豆等にも対応できる施設機能への改善	13	白根 1	合併建設計画 に同じ(1)
	品質向上と安定生産を図るため, 生産計画に対応して設置	2	—	
	複合経営への移行から, 野菜・果樹・花き等を一体化した集出荷施設への改善	25	—	
	集出荷施設に併設推進	17	—	
	特産品の開発, 消費者のニーズ動向に対応して設置	6	—	
	環境配慮, 資源循環利用等の観点から設置	7	白根, 西川 2	
	花き・花木の総合センターとして, 展示・販売・情報発信などの施設強化	3	—	
	新潟市農業の拠点施設として整備予定	—	新潟 1	
	新潟市農業の拠点施設として整備予定	—	白根 1	
	市民の参加機会を増やすために設置	1	小須戸, 潟東 中之口, 巻 4	
	主として用排水路沿いに配置	—	亀田 1	
	新潟市農業の拠点施設として整備予定	—	白根 1	
	担い手育成, 生産性向上の観点から設置	4	—	
	農業生産, 生活環境の観点から設置	7	—	

新潟市園芸銘産品

(64ページ, 68ページ, 72ページ)



にいがた十全なす



やきなす (豊栄)



くろさき茶豆



トマト (豊栄, 濁川)



ながいも (横越, 巻)



女池菜

2 農業生産基盤の整備

1) 農業生産基盤整備のあり方

今後の農業生産を支える基盤整備（ほ場、かんがい排水、農道等）にあたっては、競争力の高い農業生産を実現するために、生産性の高い効率的な基盤整備の実現を目指します。

同時に、自然豊かで潤いのある田園環境の形成を目指して、農地及び土地改良施設の整備や維持管理にあたっては、多自然型工法の導入や多様な生物が生息できる水辺環境の保全、田園景観との調和等、多面的機能が発揮されるよう配慮します。

2) 農地の多面的機能を発揮するための仕組みづくり

農地の多面的機能の発揮は、一方で、農地等の維持管理作業における農家の負担の増大という側面を有しています。このため、農家と非農家の双方が負担を分担し、メリットを享受できる協働の仕組みとして、環境に配慮した生産基盤の維持・創出に向けた管理作業への非農家の参加の仕組みづくりを、「農地・水・環境保全向上対策」等に基づいて積極的に進めます。協働の取り組みとしては、美しい農村の形成を目指した「農道や集落道の花壇作りや環境美化」、「農業用排水路等の環境維持活動（清掃、動植物調査、環境教育等）」などがあげられます。

これらの取り組みにより、農家の管理作業の労務軽減を図るとともに、地域の生態系の保全、優れた農村景観の形成、農村での自然とのふれあいによる癒しなど、非農家にとっても地域資源として価値の高い田園の形成を図ります。

また、協働の仕組みを通じて、生産者と消費者の相互理解が深まるなど、副次的効果も期待されます。

3) 事業実施に向けた地元支援

事業の円滑な実施には、農家、地域住民を含めた市民の事業への理解・協力が必要なため、事業実施に向けて以下のような支援が重要となります。

- ① 整備の必要性や事業費負担軽減のための補助金制度・融資制度等について、農家等への情報提供と事業への理解促進
- ② 農家・関係集落への事業参加の合意形成促進
- ③ 農業生産基盤施設の適正な維持管理に対する助成

4) 農業生産基盤整備の方向性

本市において、今後必要とされる農業生産基盤整備としては、①かんがい排水施設整備、②ほ場整備、③農道整備、④農村環境整備・水環境整備等があげられます。整備の方向性は以下の通りです。

農業生産基盤整備		現状と課題
①かんがい排水施設整備	1) かんがい施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ●かんがい施設の老朽化と機能低下による、水管理作業の増加 ●農業の多様化により、既存の水路・かんがいシステムにおける水管理・かんがい作業に支障が発生
	2) 排水施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ●低平地は、ほとんど全域が常時機械排水に依存し、農地と市民生活を守るため、農業排水施設の高度な維持管理と適正な更新が重要 ●都市化の拡大、産業の発展に伴う土地利用の変化や地盤沈下などの環境変化により、流出量・湛水地域の増加など、農業排水施設への負荷が拡大 ●都市排水の農業施設への流入増加により、農業排水施設の水質改善も必要
②ほ場整備		<ul style="list-style-type: none"> ●水田の区画は、概ね60%が10～20aと小さく、大型農業機械一貫体系による作業の高能率化や生産性の増大に支障が発生 ●水田地域では、低湿地や地盤沈下等に基づく排水不良が、大型機械化農業、水田の汎用化等を阻害 ●砂丘地では、農業基盤整備の遅れや担い手の減少により、耕作放棄地が増加 ●ほ場が小区画のため、担い手農業者による協同作業、生産団地形成等の経営改善に支障
③農道整備		<ul style="list-style-type: none"> ●農産物の生産から流通までの各段階に必要な広域農道（基幹的農道）の整備については、一部地域の他は、順調に進展 ●集落とほ場を結ぶ幹線農道や、ほ場内の通作に利用される支線農道の整備の遅れにより、大型農業機械の導入などに支障が発生
④農村環境整備・水環境整備		<ul style="list-style-type: none"> ●農業生産基盤の多面的機能を活かし、環境との調和に配慮した整備が必要 ●農村集落における非農家の増加が進む中で、地域住民にゆとりや安らぎを提供する施設が不足 ●交流促進のため、都市と農村を結ぶ水と緑のネットワークの整備が必要 ●集落内の道路（集落道）における整備の遅れ

整備方針	主な事業計画 ※番号は、73, 75頁の事業位置	
	合併建設計画・農業農村整備事業管理計画	
<ul style="list-style-type: none"> ●既存施設の維持管理と老朽施設の改善 ●非かんがい期における用水の確保などの高度な用水調節機能を整備し、水田の高度利用を促進 ●水資源の高度利用と管理労務軽減のためのかんがい施設（パイプラインなど）の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●1 県営基幹水利：阿賀野川右岸，同2期（豊栄） ●2 県営かん排（流域水質）：亀田郷・亀田郷第2（新潟，横越，亀田） ●3 県営地盤沈下：新潟南部（2～7期）（新潟，横越，亀田） ●8 県営地盤沈下：西蒲原（新潟，西川，味方，潟東，月潟，中之口，巻） 	
<ul style="list-style-type: none"> ●農地，市民生活の保全のための，たゆまぬ基幹排水施設の維持管理と更新 ●地下水位の高い湿田地区では，排水路，暗渠施設などの整備により水田の汎用化を促進 ●都市化の進展により都市排水が農業排水施設へ流入している地区では，排水機能の強化 ●地盤沈下による湛水地域の拡大に対処するための排水能力の改善 ●家庭排水等の流入による水質低下に対しては，施設の改善により環境浄化を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●A 国営かん排：阿賀野川右岸（新潟，豊栄） ●5 県営かん排：阿賀野川右岸（豊栄） ●B 国営かん排：亀田郷（新潟，横越，亀田） ●2 県営かん排（流域水質）：亀田郷・亀田郷第2（新潟，横越，亀田） ●3 県営地盤沈下：新潟南部（2～7期）（新潟，横越，亀田） ●6 県営湛水防除：新津東部2期（新津） ●C 国営総合農地防災：白根郷（白根） ●7 県営農地防災：白根郷（2～5期）（白根） ●D 国営かん排：新川流域（新潟，岩室，西川，味方，潟東，月潟，中之口，巻） ●4 県営かん排：西蒲原排水（2～4期）（新潟，岩室，西川，味方，潟東，月潟，中之口，巻） ●8 県営地盤沈下：西蒲原（新潟，西川，味方，潟東，月潟，中之口，巻） 	
<ul style="list-style-type: none"> ●交換分合による大区画面整備等のほ場整備により，効率的な水管理や機械化農業の推進 ●湿田改良（暗渠排水），末端用排水施設整備等のほ場整備により，田畑輪換に対応できる水田汎用化の促進 ●砂丘地は，農業基盤整備（農道，かんがい施設等）を行うことにより，生産性の高い農地（特産品の導入等）へ転換 	<ul style="list-style-type: none"> ●9 経営体育成（ほ場整備）：満日ほか（新津） ●10 経営体育成（ほ場整備）：曾根（西川） ●11 経営体育成（ほ場整備）：番屋（潟東） ●12 経営体育成（ほ場整備）：曲通西萱場（月潟） ●13 経営体育成（ほ場整備）：羽黒ほか（中之口） ●14 経営体育成（ほ場整備）：並岡ほか（巻） 	
<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化した広域農道の改良 ●大型農業機械の導入に対応した幹線農道，支線農道の整備 ●農道を活用した水と緑のネットワークの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●15 県営農免農道：小向（小須戸） ●16 県営広域農道：信濃川下流（白根） ●17 県営農免農道：並岡・漆山，ほか（巻） ●18 県営一般農道：中郷屋（西川，巻） 	
<ul style="list-style-type: none"> ●農村の自然環境を活かしたビオトープなどの整備 ●河川や用排水路の管理道路を活用した水と緑のネットワークの整備 ●水質浄化と生き物のための環境用水の検討 ●集落道の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●19 県営農村自然環境：豊栄（豊栄） ●20 団体営むらづくり：木崎（豊栄） ●21 団体営地域用水：亀田郷（新潟，横越，亀田） ●22 団体営むらづくり：新潟・亀田・横越（新潟，亀田，横越） ●23 団体営地域用水：阿賀用水左岸（新津） ●24 団体営むらづくり：西蒲原（西川，岩室，味方，潟東，月潟，中之口） ●25 団体営むらづくり：潟東（潟東） ●26 団体営農村整備統合：西南（中之口） ●27 団体営むらづくり：巻西部（巻） 	

新潟市園芸銘産品

(64ページ, 68ページ, 72ページ)



西洋なし「ル レクチエ」



日本なし「新高」



日本なし「新興」



こしわ
越王おけさ柿 (巻)



ぶどう「巨峰」(白根, 中之口・月潟)



藤五郎梅 (亀田)



食用菊「かきのもと」(白根)